

令和6年度山武地域災害医療対策訓練について

1 目的

山武地域の関係機関が連携して災害医療対策訓練を企画・実施し、発災後12時間以内の各機関の具体的な活動を確認・検証することを目的に実施する。

2 日時

訓練：令和6年10月3日（木）午前

反省会：令和6年10月3日（木）14時から

3 場所

訓練：各参加機関の指定する場所

反省会：山武合同庁舎 4階 小会議室

4 参加機関

山武郡市医師会、各市町、山武健康福祉センター

5 被害想定

発災直後

令和6年10月3日（木）9時に関東地方で地震が発生。山武地域においても震度6強の地震を観測。天気は晴れ。北西の風、3～5メートル。

発災1時間後

断片的な情報が入ってきている。複数の火災が発生し延焼中、また、多数の家屋が倒壊し、死傷者もかなりの数にのぼっている模様。

停電・断水は広範囲にわたっており、携帯電話を含め一般の電話はつながらない。インターネット回線も使用不能。

高速道路は通行止め。主要な国道、県道では渋滞が発生し、その他の一般道路では通行止めが発生している。

JR 外房線、東金線、総武本線は全線運行停止。

発災3時間後

千葉県全域で多くの建物が倒壊し、建物の下敷きになるなどで死者が発生。また、建物内に閉じこめられた人も多数出ており、消防や警察が必死の救出活動を行っている。

多数の住民が学校や公民館等に避難してきている。

市町には住民から、家族・知人の安否、行政の対応状況等に関する問い合わせが殺到している。

発災 6 時間後

多くの負傷者が病院に殺到しているが、電気や水道が停止しているため、自家発電機を有していない医療機関では医療活動が十分に行えていない模様。

一部の病院では建物の被害がひどく、余震による 2 次災害が心配されるため、入院患者を他の病院に移動させる必要がある。

発災 1 2 時間後

各地の学校や公民館等には、多くの人が避難している。夜になり、各地で避難する人がさらに増えている。

避難所の中には、毛布や飲料水が行き渡っていない所もある模様。

6 訓練内容

(1) 対策本部・救護本部の立ち上げ

(2) 被害情報の収集

山武健康福祉センター・市町間で管内病院の被害情報収集を実働で実施。

(3) 避難所・救護所の設置

山武健康福祉センター・東金市・山武郡市医師会間で救護所への医師派遣要請に係る情報伝達を実働で実施。

(4) その他

7 作業部会

各参加機関担当者による作業部会を設置し、上記 6 の内容を検討。

第 1 回作業部会：令和 6 年 7 月 1 8 日（木）

第 2 回作業部会：令和 6 年 8 月 2 9 日（木）

第 3 回作業部会：令和 6 年 9 月 1 9 日（木）

8 反省会

9 今後について